

企業等と連携した緑地の保安全管理・利活用について

1 川崎市の緑地の現状と保安全管理計画の必要性

川崎市は首都圏に位置し、大半が市街化区域で土地需要が旺盛なことから、樹林地所有者の相続問題や開発等に伴い、毎年樹林地が減少しています。

そのような中、市域の貴重な緑を残すため、「特別緑地保全地区」や「緑の保全地域」を始めとした様々な緑地保全施策を講じ、良好な状態での保安全管理を図るため、緑の条例に基づき「保安全管理計画」を策定しており、令和7年3月末時点で、34地区で保安全管理計画を策定しました。

2 多様な主体による緑地保全施策の展開

川崎市では、市民活動団体・大学との連携を行い、多数の緑地において保安全管理活動等を行ってきました。緑の基本計画では、多様な主体に支えられた緑地保全の推進を目指しており、企業等が参画した緑地の保全を可能とする仕組みを構築することで、市民活動団体・大学・企業の多様な主体による緑地保全を進めています。

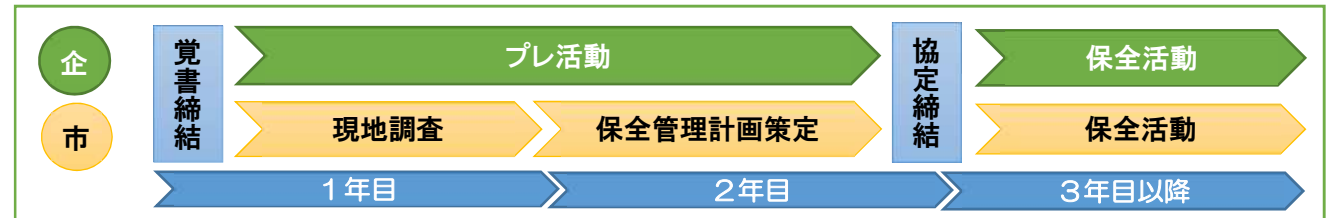
※ 保安全管理計画について

「川崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例」第14条に基づき、策定します。緑地の適正な管理を行うために、現地調査や緑地関係者との意見交換を行い、緑地の保全・活用の方向性や管理計画を含めた計画づくりをします。

その緑地の将来像などを描くことで、実際の緑地保全活動において目的を持って活動を行うことができます。

3 かわさき里山コラボ事業とは

多様な主体に支えられた緑地保全の推進を目指すため、**企業や教育機関等**の参加協力を得て、自然環境の維持・再生について研究を進める大学連携事業とは別に、保安全管理活動を主とした実践的な里山の保安全管理を行います。保安全管理活動に先立ち、その里山について、緑の将来像や管理のあり方について関係者でワークショップを行い、保安全管理計画を策定します。



企業等のメリット



川崎市のメリット



里山コラボ紹介動画



4 これまでの成果及び今後の予定

平成25年度	富士通川崎工場【栗木山王山】	協定締結
平成25年度	川崎信用金庫【王禅寺東】	協定締結
平成26年度	NECインフロンティア【久末東】	協定締結
平成26年度	岡上小学校・和光大学【岡上丸山】	協定締結
平成29年度	日本ロレアル【久末イノ木】	協定締結
令和5年度	まいばすけっと【水沢】	協定締結
令和6年度	地域環境計画【西黒川】	協定締結
令和6年度	アジア航測【真福寺谷】	協定締結
令和7年度	日本ミクニヤ【久末小貝谷】	協定締結予定（令和6年度 覚書締結）